

# 図書館のあれこれ

普段どんな仕事をしているのかあまり知られていない図書館司書。そこで今回はベテラン司書「のんちゃん」の多忙な一日をご紹介します！

FMごしょがわらGラジ(毎週水曜は図書館インフォメーションが聞けます!)を聞きながら出勤



8:30

朝会で今日の予定を確認!

返却ポストの本を取り出し新聞整理や本棚の整理(超高速!)をして開館の準備

その日のニュースなどで話題になったものがあつた時にはさつと本を選び展示します

9:30



<開館>

利用者の方の求める本を探したり、調べ物のお手伝い、レファレンスの対応などをして動きまわっています...

カーンター

※移動は常に早歩き!  
(呼び止めるのが難しい)

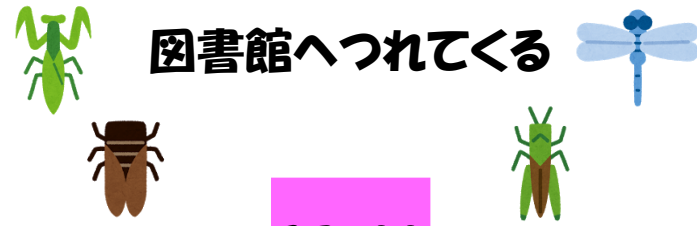


しらべる

12:00

菊ヶ丘公園の近道を通り合同庁舎にてランチ(トトロのさんぽを鼻歌しながら♪)

道中いろんな生き物に出会い図書館へつれてくる



13:00

午後もお仕事頑張ります!

本の選書や、どんな利用者にとっても使いやすい図書館になるようなサービスを考えたり、楽しいイベントの企画をしたいとなんでもやります



17:00

<閉館>

戸締りをしっかり行います  
残りの仕事も片付けます

18:00



大好きな「浜省」の歌を熱唱しながら帰宅  
今日も一日お疲れ様でした

## 4コマまんが「津軽弁で」



参考:『津軽の標準語』(久米田いさお/著)、『木造町方言集』(成田秀秋/編)など

# 本古知新



論語にある「温故知新」をもとにして図書館といえば「本」、五所川原市立図書館といえば「古」くからの郷土資料が多く揃っているという当館らしいタイトルを考えました。  
読み方は「ほんっこぢしん」と律軽弁で読んでください。  
※ ぢは律軽弁独特の「ち」と「つ」の中間の発音です。



【表紙第二号】小さい頃から図書館にきて本をたくさん借りている三國くん。今はまっている本は、子どもたちに大人気シリーズの1つ『人体のサバイバル』です!(408/加/1)

発行 五所川原市立図書館

〒037-0046 五所川原市字栄町119

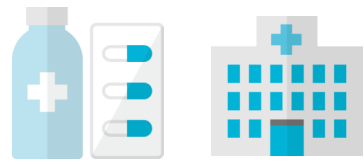
TEL:0173-34-4334

FAX:0173-34-3256

E-mail:tosyokan@city.goshogawara.lg.jp



## 館内案内



### 【健康医療コーナーができました！】

「自分のかかっている病気の標準的な治療法を知りたい」、「健康診断で異常が見つかったが、その値の意味を知りたい」など、健康・医療関係の資料を探しに図書館におみえになる方が多数いらっしゃいます。そこで、「健康医療コーナー」を新設しました。病気や健康に関する図書を閲覧機のそばにまとめて配置してあります。また、健康医療に関するパンフレットやイベントチラシなども配布しています。



### 【通常の読書が困難な方へのサービス】

みなさんの周りに、老眼で文字が見えにくくなったために読書をあきらめている方、手の動きが制限されて紙をめくるのが難しい方など、様々な理由で本を読むことに困っている方はいませんか？小説や雑誌などを朗読した「朗読CD」「音訳図書」が利用できます。利用には登録が必要です。



## 開館四十周年記念

4月から行ってきた開館四十周年記念イベントをご紹介します！

第1弾



4月～5月展示「一九七七」

第2弾



オリジナル絵本

5月13日(土)  
11時から  
貸出をしました！

第4弾

『図書館司書のリバー』



図書館HPから  
見ることも  
できます！

第3弾



展示「貸出回数0の本」

四十周年記念イベントはまだ続きます！

詳しい情報は市の広報、図書館HP、Facebookをご覧ください！

## 考古シリーズ コレなんだ？



レキシ博士：えど先生

五所川原市には土器や石器などの考古遺物がたくさんあります。今回は、五所川原市相内の遺跡で発見されたちょっと変わった遺物を紹介します！

### 人面形浅鉢 (じんめんがたあさばち)



怒っているのか、何か考え中なのか、それとも何も考えていないのか、このとてもユニークな表情の遺物は、五所川原市相内にある五月女菴遺跡(そとめやちいせき)から発見された「人面形浅鉢(じんめんがたあさばち)」です。ややこしい名前ですが、一度浅鉢を作り、外側に顔の部分を貼り付けた二重構造になっています。さらに、ところどころ赤く見えるのは、赤い石をサラサラになるまで砕いたベンガラというものです。おそらく作られた初めは、顔全体が真っ赤だったのでしょ。内側はお皿なのに外側が顔なので、使おうと思っても顔のデコボコのせいで普通に置く

ことができないとてもヘンテコな遺物です。ですが、まゆ毛や目、鼻、唇など人間の顔そっくりに作っていることがわかります。縄文人はとても手先が器用だったんですね。

この遺物は、たくさんの遺物が出土した場所から見つかりました。どうしてそこにあったのか、特別な理由があったのか詳しいことはまだわかっていません。

五月女菴遺跡では、この他にもたくさんの土器や石器、土偶、アクセサリーなどたくさんの遺物や、当時のお墓からは骨も見つかりました。謎だらけの人面形浅鉢は、現在立佞武多の館で開催中の「五月女菴展」で実物を見ることができます！ぜひご来場下さい。

五所川原市の文化財についてわかりやすくまとめた『五所川原市の文化財ガイドブック』があります！市のHPからも見るができます。

### 知ってた？知らなかった？これで1つ天才に… file.2

図書館であったレファレンス(質問)の中から皆さんの役に立ちそうなものをご紹介します！  
今回紹介するレファレンスはこちら！

「太宰治の『晩年』の『思い出』の中に、『蘭蝶』というレコードが登場する。どのような曲なのか知りたい。」

このような場合は、資料ではなく音が聴きたい！というケース。そんな時に便利なのが、国立国会図書館のオンライン・サービスのひとつである「歴史的音源」です。歴史的音源で「蘭蝶」と検索したところ新内節の「蘭蝶」がいくつか公開されていたのです！ちなみに歌詞は『新内節散歩 曲別解説』(青森県立図書館所蔵)という本に掲載されています。これにてこのレファレンスは解決しました。歴史的音源は事務室で聞くことができます。図書館のあまり知られていないサービスですが、とても役に立ちます。みなさんもこの「蘭蝶」を聴きたくなったら、是非利用してみてくださいね。

